

最優秀に瀬内さんら  
九州工大グループ

建コン協九州が  
夢アイデア交流会

建設コンサルタンツ協会  
(建コン協)九州支部(村  
島正康支部長)は10日、福  
岡市中央区の天神スカイホ  
ールで「夢アイデア交流会  
2016」を開いた。学生  
や市民がまちづくりのアイ  
デアや夢を提案する同支部  
の第14回まちづくりに関す  
る提案募集の応募作品のプ



レゼンテーションが行わ  
れ、最優秀賞に九州工業大  
学工学部建設社会工学科3  
年生の瀬内月菜さんと白木

笑加さん、木嶋耕平さん、  
佐野彰一さんのグループが  
選ばれ、表彰された写真。  
交流会には約190人が  
参加。応募57作品の中から  
1次審査を通過した9作品  
の提案者が地域づくりや防  
災、子育てなど幅広い分野  
の夢やアイデア、思いを披  
露し、学生による空き家の  
リノベーションを通じて地  
域の再生を目指す「学生村

した瀬内さんらのグルー  
プが最優秀賞に選ばれた。  
このほか「隧道を抜けて、  
宝探しにおいてよー 水源  
の里 曲淵・野河内」につい  
て発表した島田利夫さん、  
「熊本地震から学ぶまちづ  
くり〜ICT技術を用いた  
きめ細かな物資支援〜」に  
ついて発表した小山昭則さ  
ん、「心も潤う街〜雨の日  
を楽しみな日に〜」につい  
て発表した松尾真吾さんが  
それぞれ優秀賞に選ばれ  
た。

審査結果の発表後、審査  
委員は「これからも世の中  
の課題に対して考える姿勢  
を忘れず頑張ってほしい」  
「自分たちが主体的に動こ  
うとすることが重要」「ま  
ちづくりを通じた人づくり  
に重点が置かれた提案が多  
かった」などと講評。  
玉川孝道審査委員長は  
「全体を通じてアイデアの  
根っこには優しさがあつた  
よつに思う。人、まち、自  
然に優しい心を持って向き  
合っているとこからアイ

デアが生まれている。若い  
人からのアイデアが夢アイ  
デアを活気付けている。ア  
イデアに終わらずそれを持  
続して、一歩一歩、正夢に  
して」とエールを送った。  
交流会の中では座談会も  
開かれ、夢アイデア実行委  
員会のメンバーらがこれま  
での夢アイデアで実現した  
プロジェクトの実施状況の  
報告や夢アイデアの活性化  
に向けた今後の展望につい  
ての意見交換などを行っ  
た。